

広報

おいらせ

力の限り「跳ぶ」

小学校陸上競技記録会は7月6日、木ノ下小学校で開催。町内5小学校の代表選手が自己の限界に挑んだ。実施された種目は▶100^秒走▶走り幅跳び▶走り高跳び―など。遠藤来世君(木内々小5年)は走り幅跳びに出場。自己ベストを目指し、懸命に跳躍した

特集

65年前の出来事を忘れない

祖国に
命をかけた
祖父母たち

Public
Relations
August
2010
No.66

8

65年前の出来事を忘れない 祖国に命をかけた 祖父母たち

8月15日—65回目の終戦記念日が間もなく訪れる。わたしたちの祖父、祖母たちは時代の波にもまれながら、わたしたちが想像もできないような壮絶な歴史に立ち向かい、自らの命をささげた。体験者の多くが世を去り始めている今、彼らの一言一言はまさに「言霊」鮮烈かつ重く心に響く。「国を守るために、未来の日本を守るために」—純粋な思いを抱き国難に立ち向かい、平和と繁栄を願った先人たちに光を当てる。

其后長々失礼致して居ります 寒さも峠を越し かくの初春を迎ひ 御家内皆様親類の方々には御変わりなく御健在の事と思ひます 幸い御陰様にて小生元氣旺盛にて毎日務めて居りますから 御休心ください。御家内皆様親類の方々にも くれぐれも宜敷く

草々
(原文のまま掲載)

ソ連ハリコフ（現在のウクライナ）で捕虜として抑留された田中松治さん（87）＝本村＝が収容所から父・市太郎さんへ送った手紙。厳しい検閲を経た手紙は本村へ届き、家族は田中さんの無事を確認した。左は抑留当時、田中さんが使っていたフォークとスプーン（すべて田中松治さん所有）

おいらせ

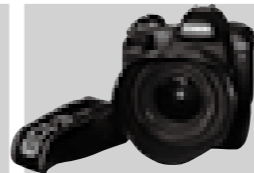
8

Oirase Town Public Relations

August 2010 No.66

CONTENTS 目次

- 02 OIRASE FRONT PAGE
—浜飯駿 さん—
- 03 特集 65年前の出来事を忘れない
祖国に命をかけた祖父母たち
- 14 Oirase Topics まちの話題
柏崎青果の酒「瑞」、氣比神社例大祭、
鶯久保子ども会資源回収ほか
- 16 Special Topics
人権教室、いちようマラソン大会
- 18 IVENT-Information
—全国将棋祭り—
- 19 HEALTH-Information
—ジェネリック医薬品の「いろは」—
- 21 公民館講座
- 22 Monthly Oirase Information
お知らせ◎各種児童手当の届出、町民
テニス大会参加者募集ほか
- 23 「廃プラ」の野焼きはやめよう
- 27 戸籍の窓
- 28 もう一度白い天使を呼び戻せ
- 30 Zoomup
—木ノ下 JSC バレーボーイズ—
- 32 家族のきずな
—松村孝志朗君・高志さん—



広報おいらせ8月号の印刷経費は、1冊あたりおよそ61円です

教えてくなる
この人

料理で人に喜んでもらいたい
将来はパティシエの道を目指す



浜飯駿 さん

県立百石高等学校食物調理科 2年

はまい・しゅん◎1993（平成5）年百石町大工町（当時）生まれ。飲食店を営む両親の姿を見て、幼少のころから料理の道を目指す。2009年、県立百石高等学校食物調理科へ入学。料理の「いろは」を学ぶ。父母と3人暮らし。おいらせ町大工町在住、17歳

おいらせブランド推進協議会（西入重雄会長）は7月6日、郷土料理開発ワーキングを開催。これは地元食材をふんだんに使い、新たな「おいらせの味」を開発するものだ。地元の百石高校からも生徒が参加。食物調理科の授業で培った技を、町活性化につなげる。明日を担う若手の参加は頼もしい。

浜飯駿さん（17）は「大工町は「ワーキング」の参加者は地元で活躍している人がたくさんいます。活動を通じて学び取ることがたくさんあると思います。自分たちのアイデアを積極的に提案しながら、町を盛り上げたい」と前を見る。

浜飯さんは子どもの頃から料理人の道を目指し、勉強を続け

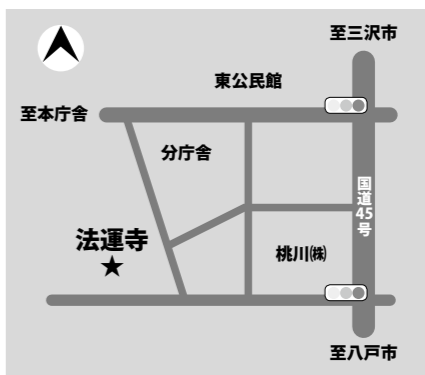
てきた。きっかけは八戸市で飲食店を経営する両親の姿。「親の仕事を見て、カッコいいなと思ったんです。自分の手で作った料理を通じて、人に喜んでもらえるなんて。本当に素晴らしいと思いました」

百石高校食物調理科に入学後は、毎週のように調理実習を重ねた。今年5月にはカワヨグリーン牧場で現場研修。「接客の方法など、現場でなければ分からないことも体験できました」と研修の成果を振り返る。「食は命の源」—多くの人に料理を提供するからには、味はもちろん食材や栄養価にもこだわりたいたいと話す浜飯さん。「将来はパティシエになり、たくさんの人を喜ばせたい」と白い歯を見せた。

英霊のききぎきに耳を澄ませて



うっそうとした木々に囲まれ、そよ風が心地よく吹く法蓮寺——その一角に、180柱もの墓碑が静かに立ち並んでいる。戦没者一人一人の碑が建立されているのは、全国的にもきわめて珍しい。国難に堂々と立ち向かい、国の誇り、民族の将来を案じた若者たちはわたしたちに何を語りかけようとしているのか——純粋に国を思い、尊い命を捧げた御霊の思いをわれわれ後世の者が少しでも知り、語り継ぐ必要があるのではないか——



「今も見守っている」 英霊の声はそよ風に乗って

役場分庁舎から南へ800メートル離れたところにある法蓮寺——木々に囲まれた閑静な寺の中に、ひととき目を引く墓碑が並ぶ。碑に刻まれた文字は、長年の風雨により削り取られ、読みにくいものもある。建立されてから長い月日が経っていることが分かる。目を凝らしてみると、それは度重なる戦争で命を失った、多くの人々の墓であることが分かる。▼日清戦争(1894年)▼日露戦争(1904年)▼支那事変(1937年)▼*1大東亜戦争

争(1941年)——などだ。戦後ソビエト連邦(現在のロシア)に抑留された人の名もある。町遺族会会員の林金蔵さん(68)「根岸」は、兄の金之さんの墓碑を見つめながらこう話す。「町が一人一人の戦没者のために墓を建ててくれたんです。遺族としてとても感謝しています」明治から昭和初期にかけて、百石町(当時)は「国のために命を捧げた英霊を、町で祀らなければ」と考え、*2墓碑を建てた。以来、遺族会会員は経費をやりくりし、長い間この墓碑を管理してきた。戦没者の霊を慰める慰霊碑などは、日本各地に見られるもの。し



01

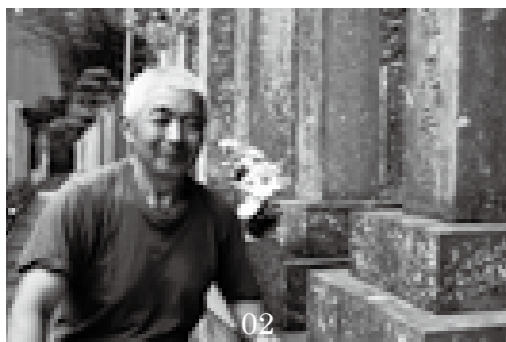
かし法蓮寺のように、戦没者一人一人の銘を刻んだ墓碑は、きわめて珍しい例だと林さんは話す。時折吹くそよ風が心地よい。木の葉がこすれる音が入り混じる。じっと耳を澄ますと、英霊たちの声が聞こえてくるようだ。「今でも天国から、みんなをしっかりと見守っているよ」と——

記憶が風化する前に 語り継がなければならぬ

本村地区にある正福寺——ここには高さ3メートル以上もあるという石碑が堂々とそびえている。土台部分には、本村地区出身の戦没者27人の名前が刻まれている。これは2000(平成12)年、本村地区の遺族が長年の願いをか

なえ建立したものの。「忠霊塔」と名づけられた。毎年8月にはたくさんのお花が供えられる。忠霊塔を訪れた袴田クニさん(79)「本村」。大東亜戦争末期、シンガポールで戦死した兄・庄太郎さんの名前を見つめ、語る。「遠く南方で亡くなったんだね。残念だっただろうね。今はこうして神様になって、わたしたちを見守ってくれているんだろうね」戦後65年の歳月が経った戦争——その名残や痕跡が、わたしたちの町に残っている。だがそれを知る人々は、次第に減っている。このままでは記憶が風化してしまう。そんな今だからこそ、その歴史を知る必要があるのではないか。そして語り継がなければならぬのではないだろうか。

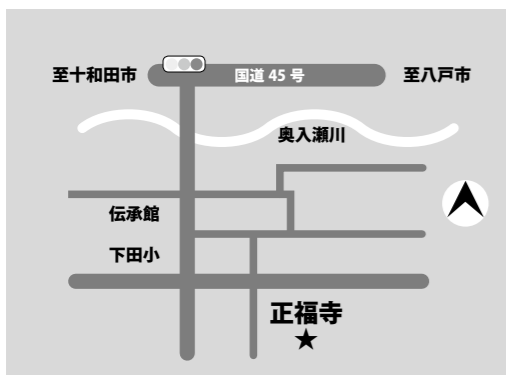
写真 01 ◎法蓮寺内に整然とそびえる戦没者慰霊の墓碑。写真中央に見える背の高い墓標は日清・日露戦争での戦没者のもの。そのほかは大東亜戦争のもの。総数180柱 写真 02 ◎遺族会の林金蔵さん。兄・金之さんの墓碑と共に 写真 03 ◎正福寺の忠霊塔と袴田クニさん。毎年8月、本村地区の戦没者慰霊祭が執り行われる



02



03



*2百石町の墓碑建立◎大東亜戦争前に建てられた26柱は有志、町の費用で建立。それ以降は町が遺族会へ補助金を交付。遺族も半額を出資し建立した

*1大東亜戦争◎1945(昭和20)年に終結した戦争は「太平洋戦争」、「第2次世界大戦」、「15年戦争」など、さまざまな表現がある。本特集では当時の証言者たちから聞き取りしたインタビューを忠実に再現し、「大東亜戦争」と表記した

追憶

南洋に散った
心優しい兄へ

大東亜戦争末期―敵艦への体当たりで局面を打開しようとした神風特攻隊。多くの若い命が遠い南方の海で壮絶に散った。「特攻隊で散った兄は本当に優しい人でした」と話す中野渡昭さん。兄へ寄せる数々の思い出を回想する。



特攻隊員の制服姿で撮影された高嶋昭二さんの写真。色白で端正な顔立ちで、心優しい兄だったと中野渡昭さんは話す。1945（昭和20）年5月4日、沖縄方面で戦死。享年18歳
写真●中野渡昭さん所有

桜の花びらが美しく咲く頃 南洋に散った18歳の命

中野渡昭さん（80）＝上新町＝が今も大切にしている兄・高嶋昭二さんの写真―

端正な顔つきに優しそうなまなざし、きりりと引き締まった口元。どこかあどけなさがありながらも、その姿はりりしく立派だ。

高嶋さんは1927（昭和2）年、百石町（当時）上新町で銭湯を営む家庭に生まれた。八戸工業専門学校（現在の八戸工業高校）へ進学。将来を夢見る矢先、予科練（航空予科訓練生）への入隊が決まった。

1945（昭和20）年5月4日、高嶋さんは第7神風桜花特別攻撃隊として「桜花」に搭乗。鹿屋基地（鹿児島県）から沖縄方面に飛び立った。すでにサイパンやグアムなど、日本の主要基地は米軍により陥落。戦況は日増しに悪化の一途をたどる。南方の島々を占領した米軍は、日本本土への空襲を繰り返し始めた。高嶋さんが操縦する桜花は、米軍艦隊へ向かって突撃。18歳の高嶋さんは南洋に散った。



桜花

全長6.6mの胴体に小さな翼を付けた超小型飛行機。母機に吊り下げられ、目標に接近してから投下される。時速600km/h以上のスピードでパイロットもろとも目標に突入する。生還不可

「咲く花の 春の盛りを 待たずして 嵐に散るも 唯君の為」
故郷は桜の花びらが美しく咲く季節。国の行く末、故郷の安寧、家族の幸せを願い、散っていった。

いつも優しくかった兄の面影 思い出すだけで涙が流れる

「特攻隊で散った兄は、本当に優しい人だったんですよ。わたしに勉強を教えてくださいました。悩みを聞いてくれたり。今でも兄のことを思い出すと、涙が流れてくるんです」
当時女学校に通っていた中野渡さ

ん。兄の遺影をじっと見つめる。とめどなく流れる涙がほほを濡らす。

高嶋さんが南洋で壮絶な最後を遂げた頃、中野渡さんは学業のかたわら、農家や工場などの作業を手伝っていた。時折米軍機が上空を飛び、爆撃を繰り返した。おいらせ病院南側の幸運橋は爆撃で崩壊。防空壕の中でじっと身を潜めた。「本当に恐ろしくなりました」と振り返る。

悪化する戦況に耐え抜いていた矢先に届いた兄の戦死の知らせ。家族は言葉には言い尽くせないほど悲しんだ。高嶋さんの遺品には、手紙や生活用品などが箱に詰められていた。だが遺骨はなかった。

「もうずいぶん昔のことになりましたが、兄のように国のことを思って命を捧げた兵隊さんがたくさんいます。わたしたちが今こうして幸せに暮らしているのは、お国のために頑張った人々のおかげ。絶対に忘れることはできません」

高嶋さんのことをいつも思い、お慕参りも欠かさないと、中野渡さん。彼女の心の中には、いつも心優しい兄が、あのとまのま今もほほ笑んでいる。

Voice

中野渡昭さん（80、上新町）

わたしは子どものころから、よく兄（高嶋昭二さん）に遊んでもらいました。とても優しい人で、わたしのことをいつも気遣ってくれました。今でもその頃の思い出を忘れることはありません。

あの頃は本当に物が不足する時代でした。でも人の心のつながりは、今よりもずっと強かったように思います。お国のため、わたしたちのために命を捧げた兄たちのおかげで、今こうして幸せに暮らしているのだといつも思っています。



咲く花の 春の盛りを 待たずして
嵐に散るも 唯君の為



(写真上) 青森陸軍病院を背に撮影した記念写真。軍人や軍医、看護婦らの姿が見える。2列目の右から3人目が及川さん

懸命の看護で 感じた平和の尊さ

—陸軍病院看護婦の回想—

南方の島々が陥落するに連れ、米軍は日本本土への空襲を強めた。昭和20年7月28日深夜、60機余りの米軍B29爆撃機は青森市を爆撃。多くの死傷者を出した。当時、青森陸軍病院の看護婦だった及川喜代江さん。「もがき苦しんで亡くなった患者の冥福を祈らずにはいられない。戦争は絶対にあってはならない」と訴える

(写真右) 青森陸軍病院看護婦だった頃の及川さん



OIKAWA KIYOE

及川喜代江さん

青森大空襲の日(7月28日)になると、今でもあの悲惨な光景を思い出します。亡くなった患者の冥福を祈らずにはいられません。子どもや孫には、絶対に戦争の恐ろしい思いをさせたくはありません。

の米軍*B29爆撃機が上空に姿を現した。そして無数の焼夷弾を地上に向けて落とし始めたのだ。市内は瞬く間に火の海に包まれた。及川さんらは制服を身にまとい、急いで患者を防空壕に避難させた。やがて上官から「看護婦の」官舎も焼失した」と伝えられた。及川さんの青春時代を記録した写真などの多くは、そのとき燃え尽きてしまった。

空襲後の陸軍病院には、被災した市民が殺到。しかし患者数にベッドが間に合わない。看護婦は徹夜で看護を続ける。だが、もがき苦しみながら絶命していく患者は後を絶たない。「生き地獄とはまさにこのこと。何とかして助けてあげたかったのですが」と及川さんは目頭を押さえる。

8月15日—ラジオで流れた玉音放送で終戦を知った。軍人はもちろん、看護婦らも涙を流し、言いようのない悔しさをかみ締めた。

「人のために尽くす人間になれ」という父の教えは、心にも響いてきた。PTA活動や婦人会活動に積極的に関わった。現在も「古間木山婦人学級」の会長として、多くの仲間たちと活動が続いている。本当に幸せそうだ。

「今は幸せで、豊かな時代になりました。でもわたしの青春時代はそうじゃなかったんです。戦争は本当に悲惨なもの。二度と繰り返してはなりません」

戦争の悲惨さを肌で味わったからこそ分かる平和の尊さを、何度も何度も訴えた。

人のために尽くしたい 看護婦を目指した青春時代

「わたしの」青春時代はまさに戦争時代。孫たちにあんな恐ろしい思いはさせたくありません」

及川喜代江さん(86)は、当時の写真を眺めながらつぶやく。

及川さんは1924(大正13)年、7人兄弟の4人目として黒石市で生まれた。警察官の父はつけにめっぽう厳しかった。「何があっても高飛車ではない。人のために尽くす人間になれ」と子どもを育てた。

父の言葉を信じ、及川さんは看護婦の道を目指した。看護婦養成所に入学。一生懸命勉強に励んだ。及川さんにとって、養成所で過ごした3年間はまさに「青春時代」。ささやかなおしゃべりを楽しみ、友達とはしゃぐことも。「みんなとハイキングに行くのが本当に楽しみでした。『ハイキングガール』とあだ名をされていたんですよ」と当時を懐かしむ。

養成所卒業後、念願の看護婦になった。昭和20年1月、青森陸軍野戦病院へ勤務を命じる召集令状が届いた。

当時、南方戦線の戦況は日増しに悪化。及川さんや家族らは「近いうちに南方への従軍もありえ

る」と覚悟していた。陸軍病院勤務の前、母の心のこもった料理を口にし「これが家族との別れになるかもしれない」と思った。

多忙を極めた陸軍病院 兵士の死に大きな衝撃

陸軍病院の内科病棟で勤務を始めた及川さん。毎日目が回るほどの忙しさだった。

樺太(現在のサハリン)から沖繩方面の部隊へ合流するという兵士の中から、伝染病患者が100人ほど病院へ搬送されてきた。及川さんらの懸命の看護の甲斐あって、彼らは1カ月ほどで回復。元気に沖繩へ出発していった。

間もなく耳に入ったのは沖繩陥落の知らせ。

「この前まで元気だったあの人たちが、全員玉砕したなんて」看護婦らは兵士の死に、大きな衝撃を受けた。

青森市上空にも、次第に米軍機が襲来し始めた。毎日のように空襲警報のサイレンが鳴り響く。あの恐ろしい「悪魔」が迫っていた。

もがき苦しむ被災患者 「助けてあげたかった」

7月28日夜—青森市に空襲警報が鳴り響いた。まもなく60機余り

「人のために尽くせ」 教えを胸に過ごした戦後

戦後間もなく看護婦を退職し、結婚した及川さん。3人の子どもに恵まれ、幸せな家庭を築いた。夫の転勤で岩手県水沢市で18年過ごした後、昭和48年、下田町(当時)へ住居を構えた。

「人のために尽くす人間になれ」という父の教えは、心にも響いてきた。PTA活動や婦人会活動に積極的に関わった。現在も「古間木山婦人学級」の会長として、多くの仲間たちと活動が続いている。本当に幸せそうだ。

「今は幸せで、豊かな時代になりました。でもわたしの青春時代はそうじゃなかったんです。戦争は本当に悲惨なもの。二度と繰り返してはなりません」

戦争の悲惨さを肌で味わったからこそ分かる平和の尊さを、何度も何度も訴えた。

* B29 ●大東亜戦争末期から朝鮮戦争まで使用された米国空軍の戦略爆撃機。東京大空襲、広島・長崎原爆投下にも使われた



▲昭和17年に東京で開かれた第30回明治神宮国民練成大会に銃剣道選手として参加した田中松治さん(右)。青年学校の部で第2位に輝いた。兄・武雄さん(左)と共に明治神宮で記念撮影



▲「祖国の土を踏んだときは、本当に夢のような気持ちだった」。抑留の記憶を思い起こしながら語る田中松治さん

祖国への 帰還を夢見て

—抑留体験者の記憶—

昭和20年8月15日の終戦以降も、多くの兵士は捕虜となり、世界各地の収容所で耐え難い苦労を重ねた。祖国への帰還を夢見て、異国の地で命を果てた多くの若者がいた。旧ソ連ハリコフで抑留生活を送った田中松治さんは、体験者でなければ知りえない多くの出来事を語った



田中さんの青春時代と共に過ごした軍服。今も田中家に大切に保管されている

遠い異国で3年の抑留生活 記憶は今でも鮮明に残る

「抑留から開放され、舞鶴港で日本の土を踏んだ。祖国に帰って来られたのが、本当に夢のようだった。昭和23年7月13日のことだよ」

田中松治さん(87) 〓本村〓は当時を思い出しながら、懐かしそうに語る。

田中さんは1946(昭和21)年から約3年間、旧ソビエト連邦のハリコフ(現在のウクライナ)で抑留生活を強いられた。大規模な国営農場や工場での作業に従事。大勢の日本人捕虜と、粗末な収容所での生活を過ごしてきた。

当時のソ連には、シベリアをはじめ

め各地に日本人捕虜の収容所が設置された。満州(現在の中国東北部)で勤務していた軍人や兵士の多くが収容所へ連行され、極寒の地で尊い命を落とした*1。

田中さんも抑留中、同じ捕虜の死亡者を何度も目にしたという。戦友の亡きがらをとむらうため、仲間たちと共に穴を掘り、やっと手に入れた棒を使って墓標にしたそうだ。

「収容所で苦楽を共にした戦友たちは、日本全国さまざまな地域出身者だった。中にはお寺に関係する人もいたから、お墓に向かってお経を唱えてもらったものだ」

60年以上も前、本当にあつた出来事―体験者でなければ分からない歴史を、田中さんは鮮明に記憶する。

「祖国へ戻る事ができる 誰もがそう思っていた」

田中さんが満州へ渡ったのは1939(昭和14年)4月。*2南満州鉄道(満鉄)への就職が決まり、大きな希望を胸に大陸へ渡った。

満鉄勤務時代は大連の駅で仕事に精を出した。駅での仕事は忙しかったが「楽しかった。いくら働いても疲れなかった」と当時を振り返る。

1944(昭和19)年1月―20歳の田中さんは徴兵検査に合格し、関東軍野戦機関砲16中隊に配属。平城(現在の平壤)で警備にあたった。終戦間際の20年6月には、奉天(現在の瀋陽)で兄の武雄さん(故人)、

辰美さん(93) 〓本村〓と再会。

「戦況は日増しに厳しくなっている。おれたち3人のうち、誰かが命を落とすかもしれない。ここで兄弟3人が出会えたことを、必ず祖国に戻ったら親に伝えよう」

20年8月9日―ソ連軍は日ソ中立条約を破り満州へ侵攻。電光石火の攻撃を容赦なく浴びせ、満州に駐屯していた関東軍を撃滅した。

田中さんも北朝鮮でソ連軍に拘束された。21年7月には北朝鮮から船で移動。「日本へ戻る事ができる」と希望を持ったのもつかの間、船はソ連北部のポセット港に入港した。捕虜らは機関車の貨車にすし詰め

状態にされ、シベリア各地に点在する収容所へ輸送された。田中さんの長い抑留生活の始まりだった。

3年ぶりに踏んだ祖国の土 夢を見ているようだった

ポセット港入港から1カ月以上もかかり、貨車はハリコフに到着。最初に入ったロガン収容所では大規模な畑の草刈作業に従事した。柄の長いかまをを使い、毎日のように草を狩り、畑の手入れをした。同年冬にはクラマストク収容所へ輸送。多くのドイツ人捕虜とも生活を共にした。

「祖国へ帰りたい。早く家族に会いたい」と、誰もが願っていた。

23年7月―ようやく日本への帰還が許可された。8日に収容所を出所し、11日にはナホトカ港から帰還船「遠州丸」に乗り込んだ。そして13日には京都府舞鶴港へ到着。およそ3年ぶりに祖国の土を踏みしめた。

下田駅では、南方から先に帰還した兄の梅松さん(故人)が帰りを待っていた。舞鶴から送った電報(1921年)を、朝から待っていた。

「あの時は本当に夢を見ているようだった。本当にうれしかった」

子や孫はもちろん、ひ孫にもその話を聞かせることがあるという田中さん。そんな田中さんを、家族は今も温かく見守っている。



* 2 南満州鉄道 〓 1906(明治39)年に日本政府が満州に設立した半官半民の株式会社。当時行われたインフラ整備は、今も中国に引き継がれている

* 1 〓 1956(昭和31)年に日本・ソ連の国交が回復するまでの捕虜死亡者数は25万人とも40万人とも言われる。ただし詳細は現在も不明



祖国に命をかけた英霊たちに祈りを込めて 「お疲れ様でした」そして「ありがとうございました」

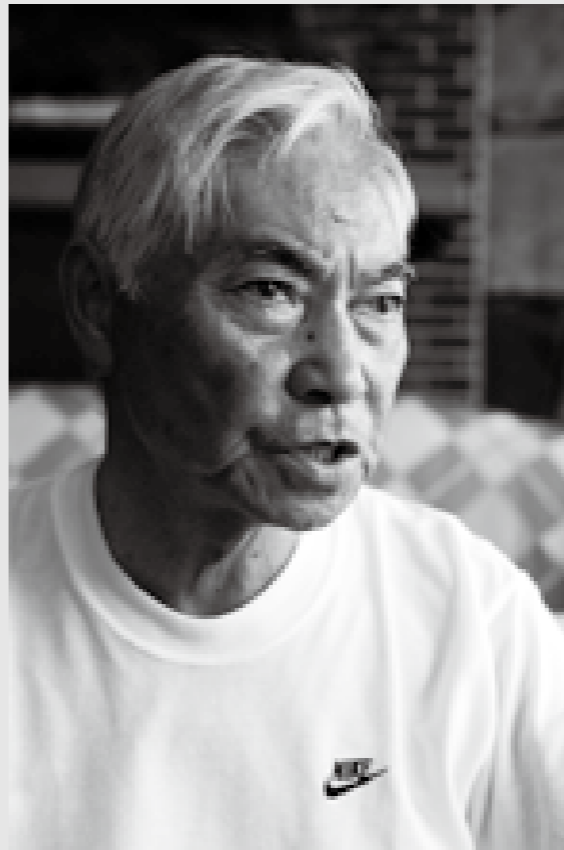
▲兄・高嶋昭二さんの墓前で手を合わせる中野渡照さん

わたしたちの国、日本は黒船来航以降、難産の末に明治維新を成し遂げた。欧米列強の脅威に堂々と立ち向かうため、富国強兵の道を選び、歩んできた。「勝てば帝国、負ければ植民地」——そんな激動の時代をかくくぐってきた日本。「戦争は多くの人に不幸をもたらす」——それが分かっている。今もなお世界中で争いは絶えない。争いを起こさないようにできるのは、相手を思う気配りにあるのかもしれない。命をかけて戦地に赴いた祖父たち。懸命に生活を支えてきた祖母たち。戦後奇跡的な復興を成し遂げた祖父母たち。平和な時代に過ごすわたしたちが、祖父母たちの苦勞を味わったり、気持ちをかち合えたりすることは、そう簡単にできるはずはない。しかし話を聞き、知ることはできる。そして将来へ語り継ぐことはできる。苦難の歴史を知る祖父母たちは、一人、また一人と世を去り始めている。残された時間は決して多くはない。そんな今だからこそ大きな敬意を寄せたい。そして誇りを持って、次代へ語り継ぎたい。「よくぞおれたちの話を聞いてくれた」「若くして南洋に散った兄に伝えたい」涙し喜んでくれた祖父母たちのためにも——

特集★祖国に命をかけた祖父母たち おわり

参考文献◎百石町誌／孫娘からの質問状—おじいちゃん、戦争のことを教えて（中條高徳）／英霊の言乃葉（靖國神社）／靖國のこえに耳を澄ませて—戦歿学徒17人の肖像（打越和子）／世界から見た大東亜戦争（名越二荒之助）／終戦60周年記念戦争体験記（青森県傷痍軍人会）／シベリアを生きる（若宮由松）／シベリア抑留・スターリンの捕虜たち（ヴィクトル・カルポフ）／日本人よありがとう（ラジャー・ダト・ノンチック）ほか

今だからこそ次世代に伝えたい切なる思い



英霊たちへ 手を合わせて欲しい

町遺族会 **小笠原春美** 会長

おがさわら・はるみ（74、木内々）

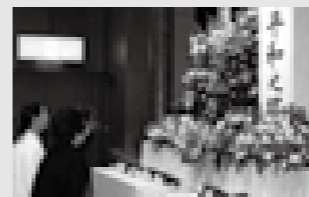
大東亜戦争で命を捧げた英霊は、本町で450人以上。残された遺族らは「遺族会」を組織。英霊の御霊を慰め、平和を希求する。しかし近年、世代交代などにより遺族会の組織率は次第に低下。「国を守った英霊たちのため、歴史を風化させてはならない」——町遺族会の小笠原春美会長は胸に秘めた思いを熱く語った。

戦後間もなく組織された遺族会は▼尊い命を捧げた英霊の供養▼戦争のない平和社会の構築——などを目的に、数々の活動を行ってきました。平成20年には百石町、下田町両町の組織が合併。新たに「おいらせ町遺族会」として活動を展開しています。現在、会員は306人です。

わたしもその遺族のひとり。兄（芳太郎）は遠く離れたニューギニア島で戦死しました。しかし残念ながら遺骨は戻ってきませんでした。

厚生省（当時）が募集した遺骨収集に、これまで3回（昭和38・40・56年）参加しました。現地には戦車や大砲の残骸が、当時のままで残っていました。美しい水色の海に、錆びついた*零戦が沈んでいる姿が忘れられません。現地の住民はみな、わたしたちを歓迎してくれました。中には日本の童謡を歌う人もいて、大変驚きました。聞くと「ニホンノヘイタイサンニナラッタヨ」とのこと。白人の植民地政策と異なり、住民と日本兵が、良好な関係を築いていたのだと知り、感激しました。時代の変化とともに、戦没者に

平和祈年祭は8月6日開催



祖国のため、尊い命を捧げた英霊たちの御霊を慰めます。

●時間 10時半から
●会場 町民交流センター
●町民課 ☎0178 56 2246

対する関心が弱まってきたように思えてなりません。遺族会員は次第に減少。高齢化の一途をたどっています。わたしたち会員は、このままでは歴史が風化してしまうのではないかと危惧しています。歴史は一度途絶えてしまったら、元に戻すことはほぼ不可能だと思えます。戻せたとしても、大変な努力を要します。

国のため、言い換えれば未来のわたしたちのため、英霊は個を捨て命をささげました。その精神に感謝し、手を合わせることは遺族でなくても必要だと思っております。456柱の英霊を慰めるため、今年も平和祈年祭が開かれます。一人でも多くの町民に参加していただき、手を合わせてもらいたいと思っています。

*零戦◎正式名「零式艦上戦闘機」。大日本帝国海軍の主力戦闘機として、支那事変から大東亜戦争末期まで使用された

復活した子ども会に期待 鶉久保子ども会の資源回収

▶▶▶ July.04-2010



鶉久保子ども会（中岫純会長）は7月4日、古新聞や古雑誌などの資源回収を実施しました。この日は県や企業からの補助金で設置したごみステーションを活用。子どもたちは率先してトラックへ資源を積み込みました。

鶉久保子ども会は、これまで10年以上活動を休止していました。しかし保護者らは「子ども会は必要。また頑張ろう」と考え、会を再結成。中岫会長は「子どもたちのため、みんなで力を合わせたい」と意欲を燃やしていました。

◀「思ったよりごみがたくさんあるね」。真剣にごみを積み込む子どもたち

美しい海を未来へ残したい 甲洋小・町赤十字奉仕団の海岸清掃

▶▶▶ July.05-2010



甲洋小学校（荒谷国久校長、児童数156人）は7月5日、町赤十字奉仕団（吉田長一委員長）と共に二川目海岸を清掃。この活動は1988（昭和63）年から続けられています。

清掃当日、海岸にはペットボトルや空き缶などのごみがたくさん打ち寄せられていました。拾い集めたごみはトラックの荷台いっぱいになるほど。

久慈海君（2年）は「ごみをたくさん拾いました。自分も海にごみを捨てないようにします」と話していました。

◀「たくさん集まったね」。友達とごみを集める久慈君（右）

バイオリンの音色にうっとり あゆみ児童クラブの誕生会

▶▶▶ July.08-2010



あゆみ児童クラブ（登録児童数71人）は7月8日、誕生会に合わせてバイオリンのミニコンサートを開催。ゲストはバイオリンクラブ「キラキラ星（阿部智世代表）」。

「星に願いを」、「山の音楽家」など、おなじみの曲が演奏されると、子どもたちは大喜び。美しい音色に耳を澄ませたり、大きな声で歌詞を口ずさんだりしていました。

阿部さんは「演奏した子どもたちも満足していました。また機会があればぜひ演奏したいです」と笑顔でした。

◀美しいバイオリンの音色が響きわたる。真剣に耳を澄ます子どもたち

災害に備えて意識を高める 向山と緑ヶ丘に自主防災組織発足

▶▶▶ July.14-2010



向山町内会（中村淳悦会長）、緑ヶ丘町内会（松林義光会長）はこのほど自主防災組織を結成。7月14日、関係者約20人が八戸北消防署で開かれた結成式に臨みました。

両会長には成田町長から自主防災の会旗が贈呈。結成式の後、北消防署員による応急手当講習を実施しました。

本町の自主防災組織はこれで7団体。中村会長は「毎年テーマを設け防災訓練を実施したい」、松林会長は「災害時の情報伝達を迅速にしたい」と意欲を燃やしていました。

◀会旗を手に今後の活動に意欲を燃やす中村会長（左）、松林会長（右）

故郷の思い出話に花が咲く 東京おいらせ会総会

▶▶▶ June.26-2010



東京おいらせ会（袴田芳美会長、会員数140人）は6月26日、東京都で総会を開催。約40人が出席しました。案件や役員選出などは滞りなく終了。事務局長は橘さんから伊藤さんへと変わりました。

その後開かれた懇親会は、遠く離れた故郷の思い出話で盛り上がります。余興も披露され、終始和やかな雰囲気でした。参加した成田町長は「ぜひおいらせのイベントにも足を運び、盛り上げて欲しい」と話していました。

◀総会終了後の懇親会。遠く離れた故郷の思い出話に花が咲く

新商品の販路拡大に意欲 柏崎青果のお酒「瑞」がお目見え

▶▶▶ June.30-2010



（有）柏崎青果（柏崎進一代表取締役）は6月30日、成田町長を訪問し、新商品「瑞」の開発を報告しました。

これは柏崎青果で生産する「黒にんにく」を使った日本酒ベースのお酒。柏崎さんは「ニンニクにおいてはそれほど強くなく、フルーティーな味わい」と説明していました。

「瑞」と同時に開発した「黒にんにくゼリー」は、リンゴの甘さと黒にんにくの酸味がほどよくマッチ。成田町長は試食し「これはうまい」と太鼓判を押していました。

◀新たに開発したお酒「瑞」の販路拡大に意欲を見せる柏崎さん（中央）

絵馬を買い求める客で賑わう 氣比神社例大祭・木ノ下祭り

▶▶▶ July.03-2010



氣比神社例大祭は7月3日、4日の両日、氣比神社境内で開催。家畜の安全や健康を願う絵馬を買い求める人で賑わいました。

60年以上も絵馬を描き続ける三浦ミイさん＝十和田市＝は「今でも絵馬を買ってくれる人がいます。だから子や孫たちと一緒に売るのが楽しみなんです」とにっこり。

木ノ下町内会による「木ノ下祭り」も境内で開催。フリーマーケットやカラオケなどで会場を盛り上げました。

◀ウシやウマが描かれた絵馬を販売する三浦さん（右から2人目）

安全運転の「守り神」が誕生 若葉会のモニュメント除幕式

▶▶▶ July.04-2010



若葉町内会の高齢者で組織される若葉会（種市輝夫会長）は7月4日、モニュメントの除幕式を挙行了しました。これは有志の手でクリの木を削ったもの。通称「若葉通り」に建てられました。

モニュメントの姿が現れると、会場に詰め掛けた約30人の参加者から大きな拍手。種市会長は「若葉通りは交通量の多い場所。このモニュメントが安全運転を見守る守り神になってくれれば」と期待を込めていました。

◀高さ約2.5mのモニュメント。安全運転を願う地域の思いが込められる



開きの火蓋は切って落とされた。いっせいにスタートを切る選手ら

File-02



汗したたる夏日の下
ゴールで味わった「達成感」

いちようマラソン大会

汗がしたたるほどの夏日。出場選手らはゴールを目指しいっせいにスタートを切った。「いちようマラソン大会」は6月27日開催。町内外から556人が出場し、日ごろ鍛えた健脚を競った。記録を手にとり喜びをかみ締める選手、友達と共に楽しみながら走る選手。それぞれの目標は違う。しかしどの選手の表情にも、大きな達成感がみなぎっていた。

6月27日は久々の夏日。黙っていても汗がとめどなく噴き出してくるほどの暑さだ。
出場選手らはスタート地点に立ち、ピストルの合図をじっと待つ。緊張が走る。合図と共に、選手はいっせいに走り出す。その勢いで地面が揺れるような衝撃が伝わる。自身の目標に向かい走り続け、ゴールした選手たち。息を切らしながらも、表情は満足そう。自分と本気で向き合ったからこそ得られる「達成感」だ。
「楽しかった。来年も必ず来るよ」と笑顔で話した選手がいた。多くのファンを魅了するいちようマラソン大会。来年に向け、選手らは再び熱い気持ちを燃やしている。

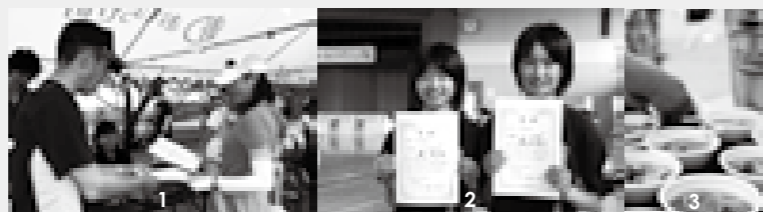


写真1 ●「お疲れ様でした」。参加者へねぎらいの言葉を添えて、記録を手渡す鎌田誠競技役員(左) 写真2 ●中学生女子の部(3km)で優勝した伴未結さん(百石中2年・左)、準優勝した野上優奈さん(同・右)。納得の走りに思わずにっこり 写真3 ●ボランティアスタッフの真心こもった「ひつみつみ汁」が参加者に配られた。疲れた体に「おいらせのうま味」がしみわたる

大会記録 (★は大会新記録)

区分	優勝者	記録
A (10km)	桜井直樹 (六ヶ所村)	33'38"
B (10km)	山田雅也 (八戸市)	36'01"
C (10km)	山崎進 (宮城県)	36'54"
D (10km)	佐藤利治 (三沢市)	40'32"
E (10km)	織笠祐実 (三沢市)	45'13"
F (10km)	佐々木あさみ (十和田市)	42'35"
G (5km)	遠藤崇夫 (三沢市)	16'11"
H (5km)	長根誠 (八戸市)	17'01"
I (5km)	杉澤隆司 (八戸市)	17'53"
J (5km)	佐藤由貴 (八戸市) ★	18'09"
K (3km)	牧野竜也 (八戸市)	09'48"
L (3km)	伴未結 (おいらせ町)	11'03"
M (3km)	大久保博世 (東北町)	11'16"
N (3km)	田澤廉 (八戸市) ★	10'34"
O (3km)	田澤駿 (八戸市)	12'22"
P (3km)	中村愛梨 (東北町)	11'24"
Q (3km)	戸澤愛織 (野辺地町)	11'43"
R (3km)	川口維郁奈(おいらせ町)	15'15"

A ●男 39歳以下 B ●男 40～49歳 C ●男 50～59歳
D ●男 60歳以上 E ●女 39歳以下 F ●女 40歳以上
G ●男 39歳以下 H ●男 40～49歳 I ●男 50歳以上
J ●女 K ●中学男子 L ●中学女子 M ●小5-6年男子
N ●小3-4年男子 O ●小1-2年男子 P ●小5-6年女子
Q ●小3-4年女子 R ●小1-2年女子

資料提供◎いちようマラソン大会実行委員会

File-01



人権マスコット「まもるくん」と共に。左から田中龍仁君、工藤七彩さん

思いやりの心を持って
友達と仲良く過ごしたい

人権教室

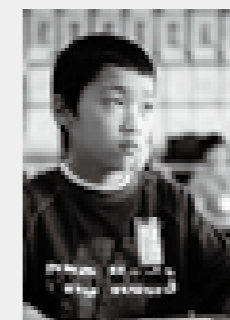
「人権教室」は6月22日、甲洋小学校で開催。町人権擁護委員は児童らへ「思いやりの大切さ」を熱心に語りかけた。人権は人間が幸せに過ごすための大切な権利。しかし知らず知らずのうちに、相手の権利を傷つけてしまうこともある。「相手を思いやり、心の痛みを分かり合える大人になって欲しい」—大人たちの強い願いは、しっかりと子どもたちの心に届いたようだ。

「友達がいじめに遭ってしまったらならば、それを守ってあげられますか」—人権擁護委員の西館あい子さん(62)。「藤ヶ森」は、児童の顔を見つめながら問いかける。
現在、本町の人権擁護委員は6人。人権啓発のため、小学校を対象に人権教室を開いている。イベントなどでのPR活動も積極的に展開する。
西館さんは「人権は一人一人が生まれたときに授けられた大切な権利。相手を認め合い、助け合うことが大切です」と訴える。児童らは真剣なまなざしで、その言葉に耳を傾ける。
多くの学校で問題になっている「いじめ」。いじめは悪いことだと知っていても、注意することには大きな勇気がいるもの。
しかしそんなときこそ、勇気を持って欲しい。心の痛みを分かち合って欲しい。人間は決して一人では生きられない。人と人との密接なつながりで生きているのだから—



甲洋小4年
遠藤仁知華さん
ENDO NICHIKA

今日の授業で、自分にできていないところがたくさんあることに気付きました。相手を思いやり、しっかり意見を言えるようにしたいです。



甲洋小4年
吉田圭祐君
YOSHIDA KEISUKE

いじめはお互いにいやな気分になってしまうものだと思います。いじめられている友達がいたら、しっかり勇気を持って守りたいと思います。



▲児童へ熱心に語りかける西館あい子さん。「いじめは▶しない▶させない▶見逃さない」。この気持ち大切です。児童は真剣なまなざしで、西館さんの話に耳を傾ける。



—正しく使い医療費を減らそう—

ジェネリック医薬品の
「いろは」
Generic drug

最近テレビや新聞で見かける「ジェネリック医薬品」。これは「後発医薬品」とも呼ばれます。新薬に比べて比較的安い値段で手に入れることができます。正しく使えば、薬代の負担を減らし、医療費も節約できます。意外と知られていないジェネリック医薬品の「いろは」を押さえておきましょう。

1 Question ジェネリック医薬品はなぜ安いのか？

新薬の開発には膨大なお金と時間がかかります。ジェネリック医薬品は特許の切れた新薬と同じように製造するため、開発費用は大幅に少なくなります。



2 Question 新薬と比べてどれくらい安いのか？

糖尿病患者が毎日3回薬を服用する場合、新薬とジェネリック薬品の1年間の薬代を比べてみます。

負担割合	新薬	ジェネリック
* 3割負担	23,000円	9,860円
* 1割負担	7,670円	3,290円

3 Question 値段が安くても薬の効果はあるのか？

ジェネリック医薬品は、すでに販売されている先発医薬品の有効性を確かめられた上で販売されています。国の認可を受けるため、厳しく検査されています。



4 Question ジェネリック医薬品は安心できるのか？

新薬と同じように、品質や安全性を守って製造販売しています。品質評価の結果は「*2医療用医薬品品質情報集(オレンジブック)」で確認できます。



5 Question 処方してもらうにはどうすればいいのか？

現在、ジェネリック医薬品はこの医療機関でも扱われているわけではありません。医師の処方が必要です。かかりつけ医や調剤薬局へ問い合わせてください。



6 Question ジェネリック医薬品を使うメリットは何か？

家庭の薬代の負担が確実に減ります。長期の病気でも、経済的に無理なく服用を続けられます。医療費の抑制は各種保険料を抑えることにつながります。



現在、わが国の医療費は増加の一途をたどっています。本町も例外ではありません。高齢化や生活習慣病のため、国保加入者の医療費は年々増大。財政負担や国保税額は上がる一方です。薬はわたしたちの健康を支える上で、大切な役割を担っています。医師から処方されるものや薬局で販売されているものなど、実にさまざまな種類の薬があります。近年話題の「ジェネリック医薬品」これは「新薬(先行医薬品)」の特許が切れた後、同じような効果を持つ薬を別メーカーが製造したものです。新薬と同様の効果が得られ、しかも安価に入手できるのが魅力です。町はもちろん、それぞれの家庭の医療費も減らせるジェネリック医薬品。興味のある人は医師や薬剤師へ気軽に相談してください。



子どもたちが駒役を務める「子ども人間将棋」は必見

「将棋のまち・おいらせ」のイベント

「全国将棋祭り」は
8月21・22の両日
開催します

「将棋による町おこし」を目指し催された全国将棋祭り—今年で25回目を迎えます。将棋はもちろん、子どもから高齢者まで楽しめる催しが盛りだくさん。期間中は図書館まつりや健康まつりなどの併催行事も開かれます。気軽に足を運んでください。

■全国将棋祭り

[21日④の主な催し]

時間	内容
12:30-	オープニング演奏会
14:30-	子ども人間将棋
16:00-	プロ棋士による多面指し対局指導
18:00-	歓迎レセプション(野外ライブ)

[22日⑧の主な催し]

時間	内容
9:30-	第18期倉敷藤花戦おいらせ対局
10:00-	第21回大山名人杯争奪将棋大会
11:00-	プロ棋士による多面指し対局指導
13:30-	ボウリング de 将棋倒し
13:30-	プロ棋士による多面指し対局指導

■図書館まつり

[21日④の主な催し]

時間	内容
11:00-	紙芝居「根岸の大いちょう物語」
12:00-	夏の絵日記コンクール表彰式

[22日⑧の主な催し]

時間	内容
11:00-	MOMOおはなしの会の読み聞かせ
12:30-	ライブ「箏でアニメソングを聞こう」
13:15-	矢崎ゆりさんの「昔ばなし」

*そのほかにも▶縁日▶絵日記作品展示▶お茶会▶生け花展示—などの催しがあります。

大山名人杯争奪将棋大会
参加者を募集します

●クラス ①有段 A ②有段 B ③無段 ④小学生 ⑤小学生初心者

●参加費
一般/2千円
学生/1千円
小学生/500円



気軽に参加してください
「歓迎レセプション」

●参加費 一般/4千円
高校生以下/1千5百円

将棋祭りを盛り上げよう
出店者を募集します

イベントを盛り上げてくれる出店者を募集します。興味のある人は気軽に問い合わせてください。出店にかかわる詳しい内容は、申込者へ後日連絡します。

いきいき健康まつり
ボランティアまつり開催

8月22日、いきいき館で「いきいき健康まつり」「ボランティアまつり」を開催します。気軽に足を運んでください。

楽しみながら交流しよう
「ニュースポーツ体験」

8月22日開催。▼フライン・ボール▼ペタンク▼ストライクボード▼輪投げ—などで楽しく交流します。

公民館講座

生涯学習課 ☎ 0178 56 4276

公民館講座は楽しみながらスキルアップできる講座です。受講料は無料です。気軽に申し込んでください。

1 Course 高坂房子さん が教える パッチワーク教室

Kosaka Fusako ●パッチワークの会を主宰。町内外で積極的に活動を展開



9月2日(土)、16日(土)、30日(土)
18時半～20時半
町民優先 先着20人
材料費—3千円(3回分)
持ち物—針箱、ミシン(ある人のみ)
申込期限—8月20日(金)まで

2 Course 舘松ヒロさん が教える 手編み教室

Tatematsu Hiro ●三沢市在住。半世紀近くにわたり編み物を指導



9月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土) 18時半～20時半
町民優先 先着10人
材料費—実費分
持ち物—毛糸、編み棒
申込期限—8月20日(金)まで

3 Course 蛸名由美子さん が教える レザークラフト教室II

Ebina Yumiko ●向山在住。レザークラフトの普及に意欲



9月21日(土)、28日(土) 10～12時
町民優先 先着10人
材料費/2千円(2回分)
持ち物/エプロン、タオル、筆記用具
申込期限/9月1日(土)まで

国勢調査

9月末から10月にかけて各家庭を訪問します



統計イメージキャラクター「センサスくん」です。よろしくね。

調査員が各家庭を訪問し、調査票を配布します。内容をよく読んで、必要事項を記入してください。記入後、調査員が調査票を回収します。郵送も可。

調査で得た情報は▶人口推移の把握▶社会福祉▶雇用対策—などに使われます。皆さんの協力をお願いします。

企画課 ☎ 0178 56 4701

図書館/新着図書

Oirase new-book's information

図書館おすすめの本を紹介します。



小暮写真館 宮部みゆき 著

もう会えないなんて言うなよ。あなたは思い出す。どれだけ小説を求めていたか。ようこそ小暮写真館へ。3年ぶりの現代エンターテインメント



遺書配達人 森村誠一 著

棟居刑事は出張先の四国霊場・遍路宿で野田と相部屋になる。彼は現役時代に世話をした行路病人やホームレスの遺書を、遺族へ届ける旅をしていた。切ない余韻が美しい美しい叙情推理の傑作



夜行観覧車 湊かなえ 著

父親が被害者で母親が加害者。高級住宅地に住むエリート一家で起きたセンセーショナルな事件。遺された子どもたちはどのように生きていくのか。『告白』の著者が描く、衝撃の家族小説



マイケル・ジャクソン 西寺郷太 著

なぜマイケルは誤解されたか—ジャクソン家の人間関係、絶頂期の混乱、少年虐待疑惑の真相、「THIS IS IT」の舞台裏。初心者からマニアまでに捧げるマイケル・ジャクソン入門の登場

ほかにも新しい本を取りそろえています

- 町立図書館 それなりに生きている(群ようこ) /最後の証人(柚月裕子) /ほしいものはなんですか?(益田ミリ) /メモリーを消すまで(山田悠介) ほか
- 中央公民館 月の恋人(道尾秀介) /こんなの、はじめて?(酒井順子) /指定席(赤川次郎) ほか
- 北公民館 世界のしくみがよくわかる! ニュースを読む技術(池上彰) /島田秀平の幸せになれる開運! 手相占い(島田秀平) ほか

図書館の行事

Oirase-library ivent information

- 本展示 一般/手に汗握るサスペンス小説 児童/夏休みの宿題を片付けよう
- 読み聞かせ会 8月14日(土)、28日(土) 14時から
- 幼児のための読み聞かせ&布絵本で遊ぶ会 8月19日(土) 10時半から
- 8月の休館日 2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)、30日(日)

町立図書館 ☎ 0178 56 3900

おいらせアーカイブス File_030

[アーカイブス●「書庫」「保存記録」の意味です]

江戸時代—そば、うどん、茶飯や菜飯などを売り回る「煮売屋」が、客に出す盛り切り用の器として使い、広まったものである。



どんぶりばち 井鉢 [民具ふれあい館蔵]

口径16〜17センチ、高さ10センチ前後と大型で厚い深手の碗で、一般的な飯碗のほぼ2杯分。平均的な一食分が入る井鉢は「どんぶり」とも言う。それらの井鉢には蓋は付かなかったが、卵井鉢、親子井鉢、かつ井鉢、鰻井鉢など、井鉢におかずを盛り込んだ「井物」を出す店屋では、口縁部がやや外返しだ。ここに蓋を載せる井鉢が使われた。ちなみにそばやうどんなど、麺類には蓋のないものが多い。

用いられている。井鉢は陶器製もあるが、多くは磁器製である。現代で言う外食産業で発達した盛り切り食用の器として広まった井鉢—やがて一般家庭にも広まり、店屋物と同じ井物が作られ、食べられるようになった。井物は今も多くの人に好まれ、気軽なものでなしなどに用いられている。

(町文化財保護審議会委員 櫻庭俊美)

ボランとぴあ Room

古間木山婦人学級



会員約20人で北公民館周辺の草取り作業を実施。「北公民館を大切に」—と真心を込めて。

北公民館利用団体(おいらせ歌謡愛好会)

会員らは北公民館のフジの枝を剪定。本会は毎週水曜日、北公民館で練習しています。



Volunteer



生涯学習フェスティバル 「みんなのフェスタ 2010」

- 日時 10月23日(土)～24日(日)の両日 9時～17時(ただし24日は16時まで)
- 会場 町民交流センター

ボランティアスタッフを募集します

案内係や発表会の補助など、イベントを支えるスタッフを募集します。

町民の作品を募集します

作品は出展者が搬入・搬出してください。詳しい内容は、申込者へ後日連絡します。

- 申込締切 8月27日(金)
- 作品搬入 10月21日(土)～22日(日)の両日 9時～20時半(ただし22日は16時まで)
- 作品搬出 10月25日(月) 9時～12時

野外出店者を募集します

出店場所の詳細は、申込者へ後日連絡します。

- 出店資格 町内業者で町観光協会または町商工会の加入者
- 申込締切 8月27日(金)

生涯学習課 ☎ 0178 56 4276

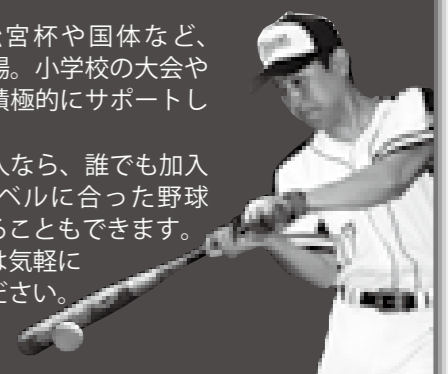
体育協会加盟団体

Oirase Sports Association

File 1 野球協会 (大山益三会長、会員数100人)

これまで高松宮杯や国体など、数々の大会に出場。小学校の大会や朝野球などにも積極的にサポートしています。

野球を愛する人なら、誰でも加入可能。年齢やレベルに合った野球チームを紹介することもできます。興味のある人は気軽に問い合わせてください。



- 練習日 隔週の(火)、(木)、(土) 17時半から *ただし土曜日は主に午前中に練習します
- 練習場所 下田公園野球場ほか
- 問い合わせ 野球協会事務局 袴田徹 (町分庁サービス課) ☎ 0178 56 4214

「廃プラ」の野焼きはやめよう



町は農協と共に、ポリ・ビニールなどの農業用廃プラスチック(=廃プラ)を回収しています。

廃プラを野焼きすることは、法律で固く禁止されています。処罰の対象にもなりますから、十分に注意してください。

本町は品質の高い野菜を生産する地域として、全国から高い評価を得ています。町が誇るブランド「おいらせ野菜」のためにも、廃プラの野焼きはやめましょう。

■廃プラの回収

十和田おいらせ農協のうち、次の場所へ搬入してください。農協と委託契約を結ぶ必要があります。当日は印鑑を持参してください。町は処理量1㌦あたり10円を助成します。

回収日	回収場所
8月5日(木)	北部野菜センター
8月6日(金)	二川目野菜センター

■廃プラ搬入前にもう一度確認

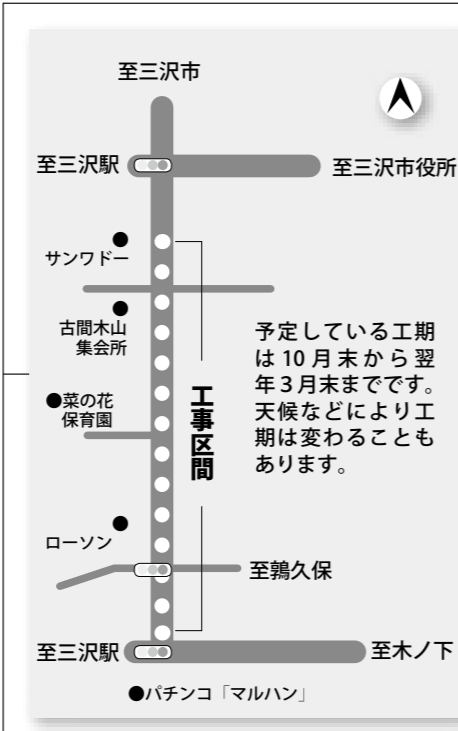
- しっかり汚れを落とし、乾かす
- ポリとビニールを分ける
- ハウス用ビニールはバンドを外す
- 肥料袋は束にして縛る
- 苗箱は20～30枚重ねて縛る
- フィルム類は束にして縛る
- 農業容器はよく洗って乾かす

■刈り草の野焼きにも注意

刈り草などを燃やすときは、周囲の迷惑にならないよう、しっかりと気を配りましょう。風向きを考え、いつでも消火できるようにしてください。

■問い合わせ

- ① 十和田おいらせ農協もいし支店 一川目営業所 ☎ 0178 ② 2384
- ② 十和田おいらせ農協下田支店 購買課 ☎ 0178 ⑤ 2936
- ③ 町農林水産課 ☎ 0178 ⑥ 4279



交通規制

町道木ノ下・三沢線のうち、青葉から緑ヶ丘まで約1.3キロ区間の舗装補修工事を行います。期間中は片側通行になります。走行時は十分注意してください。

予定している工期は10月末から翌年3月末までです。天候などにより工期は変わることがあります。

子育て支援センターのサークル活動

場所	日時	行事内容
三田保育園 ☎ 0178 56-2008	8/7(土) 17:30～20:00	夕涼み会
	8/10(日) 10:00～11:30	親子クラブ(絵の具で遊ぼう)
	8/19(日) 10:00～11:30	よちよちひろば(赤ちゃんマッサージ)
	8/24(日) 10:00～12:00	体験保育(2歳クラス)
	8/25(日) 10:00～12:00	体験保育(1歳クラス)
	8/26(日) 10:00～12:00	体験保育(0歳クラス)
	8/31(日) 10:00～12:00	ハンドメイドクラブ(バラのコサージュ作り)
錦ヶ丘保育園 ☎ 0178 56-4051	8/4(木) 10:30～12:00	英語で遊ぼう(錦ヶ丘集会所)
	8/12(木) 10:00～11:30	体験保育
	8/18(木) 10:00～11:30	おさかな製作(錦ヶ丘集会所)
	8/21(日) 10:00～11:30	保育体験
菜の花保育園 ☎ 0176 53-8670	8/21(日) 14:00～15:30	わくわくサークル(手作りおやつを楽しもう)
	8/24(日)、31(日) 10:30～10:50	歌・手遊び、読み聞かせ(北部児童センター)
	8/20(日)、27(日) 10:30～10:50	歌・手遊び、読み聞かせ(木ノ下児童館)
	8/21(日)、28(日) 15:00～15:30	キッズバレエ&リフレッシュ体操(有料)
あゆみ保育園 ☎ 0178 52-2206	8/3(日) 10:00～11:30	水遊び
	8/5(火) 10:00～12:00	おしゃべりサロン(東公民館)
	8/11(日) 10:00～12:00	エクササイズ
	8/17(日) 10:00～12:00	おしゃべりサロン
	8/18(日) 10:00～12:00	エクササイズ(東公民館)
	8/19(日) 9:30～12:00	おいらせクローパ(東公民館)
	8/23(日) 10:30～11:00	青空キッズ(中央公園)
	8/24(日) 10:00～12:00	水遊び、給食体験
	8/25(日) 10:00～12:00	はんど&はあと
	8/26(日) 10:00～11:30	ヨガサークル
8/27(日) 10:30～11:30	マタニティほんわかルーム	
8/31(日) 10:00～11:30	しあわせなアロマ生活	

※詳細はきらら通信をご覧ください

相談日

一人で悩まずに相談してください

- 町民相談
 - 日時 8月11日(水) 10時
 - 場所 中央公民館
 - 相談員 柏崎良子
- 行政相談
 - 日時 8月25日(水) 10時
 - 場所 東公民館
 - 相談員 中村廣美

子育て

児童扶養手当現況届・特別児童扶養手当所得状況届を受け付けます

標記の届けを受け付けします。詳細は対象者へ通知します。ただし届出がないと、手当を受けることができません。受給資格者は必ず来庁し、手続きを済ませてください。

- 受付期間 8月2日(日)から31日(木)まで(ただし土日を除く)
- 受付時間 8時半～17時
- 受付場所 町民課

父子家庭の父親にも児童扶養手当を支給

今年8月1日から、父子家庭の父親にも児童扶養手当を支給されます。

受給には申請が必要です。11月30日までに手続きを済ませてください。これを過ぎると、手当の支給は申請の翌月からになります。

● 児童扶養手当とは何か
離婚などによる一人親家庭に対して支給される手当です。

● 父子家庭の支給要件
次のいずれかに該当する子どもで、父がその子

- 子どもを監護し、かつ生計を同じくしている場合に支給されます。
- ① 父母が婚姻を解消した
 - ② 母が死亡した
 - ③ 母が一定程度の障害状態
 - ④ 母の生死が明らかでない
 - ⑤ その他(母が1年以上遺棄している▼1年以上拘禁されている▼が婚姻せず懐胎した▼など)
- 支給手当の月額
- ① 児童1人/全部支給4万1千720円、一部支給4万1千710円～9千850円
 - ② 児童2人以上の加算額/2人目5千円、3人目以降は1人につき3千円
- *所得制限があります

「地域づくり協議会」地区別説明会を開催



「自治基本条例」の策定から1年が経過。町民と議会、行政が協働でまちづくりを進める母体組織「地域づくり協議会(住民自治組織)」の仕組みづくりを進めます。本組織は▶地区のまちづくり計画策定▶さまざまな事業展開▶町内会や各団体の情報交換▶地区と行政の相互協力で協働のまちづくり—などを実施します。町内会単独では解決できない問題を解決したり、広域的コミュニケーションを図ったりすることができず。

説明会では地域づくり協議会の必要性などを説明します。気軽に参加してください。

開催日	会場(対象地区)
8月4日(水)	みなくる館(百石小学区)
8月10日(火)	一川目地区生活会館(甲洋小学区)
8月17日(火)	本村伝承館(対象/下田小学区)
8月20日(金)	中央公民館(木内々小学区)
8月24日(火)	北公民館(木ノ下、鶉久保、向山、豊原、苔米地、豊栄)
8月26日(木)	古間木山集会所(住吉、若葉、青葉、緑ヶ丘)

*いずれの会場も18時半から開会。おおむね1時間半の説明会です。

企画課 ☎ 0178 ⑤ 4701

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

町内会	有楽町/阿光坊/本村/新敷/錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘/木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平/鶉久保/木ノ下/豊栄/豊原/向山/苔米地/洋光台/根岸/黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙/木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平/苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団地/藤ヶ森/いちよう団地/堀切川/川口/明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日		毎週火・金曜日
燃えないごみ	8月27日(金)	8月24日(火)	8月23日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック 8月4日(水) プラスチック 8月18日(水)	紙 8月11日(水) びん 8月25日(水)	
粗大ごみ	8月13日(金)・27日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します

環境保健課 Tel 0178-56-4218

国民年金♥ガール

便利でお得な口座振替

国民年金
保険料
今年4月から
15,100円

えーっ。
額が上がったわね。
主婦にもうれしい
割引きとかないの？

それ、
あるわよー♥

口座振替の
「前納」にすれば、
割引きを
受けられますよ♥

毎月支払うなら、
月々50円お得な
「早割」が
オススメ♥

早割は月々50円、年間600円お得

教えておいらくん

お得な納付方法

- ① 1年前前納 (口座振替) 3,800円お得
- ② 1年前前納 (納付書) 3,220円お得
- ③ 6カ月前前納 (口座振替) 1,030円お得
- ④ 6カ月前前納 (納付書) 740円お得
- ⑤ 毎月当月末 (口座振替) 月々50円お得

口座振替の前納 (1年または6カ月) をするには、期限内の申し込みが必要だよ。



日本年金機構八戸年金事務所 ☎ 0178 44 1742
 町民課 ☎ 0178 56 2246

助成事業
皆さんの
お役にたちますよ

今年度、
新敷町内会
は宝くじ助
成金を活用。
小型除雪機や蓋外し機などを
購入しました。
来年度事業の実施は未定
です。ただし申請方法や助
成金対象事業などの相談は

園企画課
☎ 0178 56 4701

い服装で来てください。
● 問い合わせ 町グラウン
ドゴルフ協会 田中光穂
☎ 0178 56 3378

やさしいヨガサークル
「シャントイ」会員募集
園生涯学習課
☎ 0178 56 4276

●日時 毎月第1・3
木曜日 18時～19時

ヨガに興味がある人は、
気軽に申し込んでください。
●日時 毎月第1・3
木曜日 18時～19時

募集します
パークゴルフ体験会
参加者を募集します

随時受け付けています。気
軽に問い合わせてください。

園スポーツ振興課
☎ 0178 56 4259

●日時 9月11日④ 10時
●場所 カワヨグリーン牧
場

●定員 先着40人

●持ち物 動きやすい服
底の平らかな靴、飲み物

●申込方法 9月6日④ま
でに電話で申し込んでく
ださい。定員に満たない
ときは当日も受け付け可。

●場所 東公民館
●会費 600円 (体験者
初回)

●問い合わせ 森下幸栄
☎ 0178 56 6535

090・2362・9289

夫の生活習慣病が気にな
る妻のための講座です。夫
婦、または夫だけの参加も
可。希望者は一週間前まで
に申し込んでください。

園環境保健課
☎ 0178 56 4218

「夫元気で長生き」
栄養講座を開催します

町民テニス大会
参加者を募集します

個人などが所有する不動産を町内会
が登記するため、まずは所有者を確認
してください。その後、登記簿上の所
有者から、町内会への所有権移転を承
諾してもらう必要があります。

園スポーツ振興課
☎ 0178 56 4259

●日時 9月5日④ 受付
締切/9時 試合開始/
9時15分

●場所 いちよう公園テニ
スコート

●種目 ダブルス (男子
女子、混合の区別なし)
*1人でも申し込み可

●ペア 当日抽選で決定

●参加料 一人1千円

●対象 町民または町内
で勤務する人

●申込締切 8月27日④

●日程・講座メニュー

① 9月1日④ / 「食事バラ
ンスの黄金率とメニュー
教えます」あのだいエツ
トの落とし穴」

② 9月15日④ / 「お酒・た
ばこの上手な付き合い合
方と別れ方」生活習慣病
予防の酒の肴レシピ」

●開催時間 10時～13時半

●場所 いきいき館

●講師 町の管理栄養士、
保健師

●内容 講話と調理実習

●材料費 300円

●持ち物 エプロン、三角
巾、米2分の1合

8月の納税相談日

	会場	月日	時間
夜間	本庁舎 (税務課)	8月3日④	17:00-20:00
		8月17日④	
	分庁舎 (分庁サービス課)	8月10日④	
		8月24日④	
休日	本庁舎 (税務課)	8月1日④	8:30-17:00
		8月15日④	

■ 8月に納める税金 (○数字は期)

納期限日	税金の種類
2日	固定資産税②、国民健康保険税①、介護保険料①、後期高齢者保険料①
31日	町・県民税②、国民健康保険税②、介護保険料②、後期高齢者保険料②

納め忘れをしないためにも、手間のかからない口座振替が便利です

グラウンドゴルフ
体験者を募集します

● 日程と会場
① 8月5日④ / 下田公園キ
ャンプ場
② 8月7日④ / 下田公園テ
ニスコート南側の広場
*雨天時は中止します。

● 時間 9時半～11時半

● 申込方法 参加希望者は
開催日前日までに協会へ
申し込んでください。

● 道具 協会が道具一式を
準備します。運動しやす

「地縁による団体 (町内会)」 認可で土地などを登記できます

「地縁による団体 (= 町内会)」が法人の認可
を受けると、その名義
で土地や建物などの不
動産を登記できます。



Step 1 認可を受けるための条件

- その団体が地域の共同活動をしている
- その区域が住民に十分周知されている
- その区域の住民の多くが構成員である
- 団体の規約を定めている

* 上記を満たす団体は、町長の認可を
受けて法人格を得ることができます。

Step 2 町内会へ不動産所有権を移転

個人などが所有する不動産を町内会
が登記するため、まずは所有者を確認
してください。その後、登記簿上の所
有者から、町内会への所有権移転を承
諾してもらう必要があります。

Step 3 収益がなければ税金を減免

認可された町内会は、収益事業をし
なければ、法人税や固定資産税などが
減免の対象になります。

地縁による団体に認可されても、町内会は
住民が自主的に組織し、活動する団体です。
町の監督指揮下に置かれるようなことはあ
りません。手続き方法など、詳しいことは
気軽に相談してください。

園企画課 ☎ 0178 56 4701

有限会社 北浜葬儀センター

電話1本で、どこの病院からでも御遺体を自宅までお運びいたします。
葬儀一式25万円から、お客様の予算に合わせてサービスいたします。
お気軽に御相談ください。年中無休。24時間営業。

おいらせ町二川目四丁目 73-1468 ☎ 0178-53-2614

*有料広告掲載欄です



野月康造さん・祥代さん夫婦に待望の長男奏音君が誕生。「元気で心優しい子に育ってね」

- ＊**こんにちは赤ちゃん**
- ＊馬場蒼空 (雅人・泉) 三本木 14人
 - ＊一戸陽寧多 (大蔵・絵美子) 下前田
 - ＊菅藤藍禪 (譲・麻記) 木ノ下
 - ＊野月奏音 (康造・祥代) 洋光台
 - ＊竹内結莉 (健・まき) 間木
 - ＊柏崎蒼空 (修司・佑美) 木内々
 - ＊遠藤寧音 (耕祐・栄子) 鶏久保
 - ＊田中佑汰 (千丈・恵子) 一川目
 - ＊相坂芽咲 (和幸・直美) 木ノ下
 - ＊井上煌太 (征也・直子) 緑ヶ丘

戸籍の窓

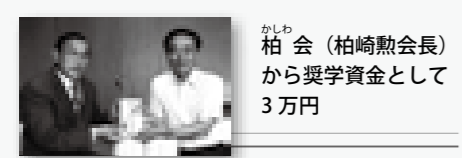
6月に届け出し、掲載希望した人を載せています

- ◎**お悔やみ申し上げます**
- 鈴木良次郎 81歳 二川目
 - 袴田晋 82歳 間木
 - 吉田祐次郎 74歳 木崎
 - 北向りん 82歳 苦米地
 - 竹林幸子 71歳 洋光台
 - 苦米地琴 72歳 木崎
 - 松ヶ崎トク 84歳 日ヶ久保

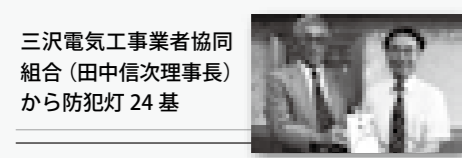
- ♡**結婚おめでとう**
- 川原幸広 向平 5組
 - 野中恵美 向平
 - 下久保昌宏 住吉町
 - 高田瑠惟 三沢市
 - 百目鬼力哉 肴町
 - 新田恵 六戸町
 - 名古屋幸樹 洋光台
 - 中平好美 五戸町
 - 澤頭要 阿光坊
 - 金澤麻衣子 八戸市

- 西館桃花 (琢美・利花) 二川目
- 盛田航汰 (隆・亜紀子) 若葉
- 沼端秀也 (秀美・由香) 洋光台
- 山田明愛 (亮・純奈) 染屋

寄付ありがとうございます



かしわ 柏会 (柏崎敷会長) から奨学資金として3万円



三沢電気工事業者協同組合 (田中信次理事長) から防犯灯24基

まちの人口 (7月1日現在)

人口 前月比	
男	12,164 ↑ 6
女	12,910 ↑ 10
計	25,074 ↑ 16
世帯	9,292 ↑ 1

- 種市卓司 78歳 向山
- 田中福造 87歳 本村
- 堀川留藏 77歳 堀切川
- 工藤サワ 94歳 一川目
- 川口セチ 76歳 大工町
- 石和進 85歳 間木
- 三浦三千雄 75歳 向山
- 三村キワ 91歳 明神下
- 荒川きみ 78歳 三田
- 伊藤ヨシノ 85歳 三本木

編集後記

▼わたしの祖父は昭和6年生まれの79歳。7人のひ孫に恵まれ、元気に過ごしています。持病はありますが、年を重ねるごとに元気になっていくように思います▼「あと2、3歳早く生まれていれば、予科練(海軍飛行予科練修生)に志願していた」と話す祖父。知人にも多くの予科練生がいて、南洋で命を落としたそうです▼中学生のころ「じいさんたちの時代はひどいことをした」と思い込んだことがあります。しかし今は「ありがとうございます」と思っています。お疲れ様でした」と心から思うことができます▼ワールドカップ南アフリカ大会へ健闘する日本代表を応援し、毎晩テレビにかじりついていました。それぞれが誇りをかけ、必死に勝利を目指す姿。日の丸を背負って奮闘する姿を見て、自分も誇らしく思えました。

企画課 広報担当
松林 拓大

おいらせ健康カレンダー

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 回				
2 月				
3 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
4 水	認知症予防教室	9:30-12:00	北公民館	
5 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
6 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
7 土	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール下田	
8 日	町民健診	受け付け/6:45-8:30	老人福祉センター	事前申し込みが必要です
9 月	町民健診	受け付け/6:45-8:30	老人福祉センター	事前申し込みが必要です
10 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
	1歳6カ月児健康診査	受け付け/12:30-12:45	いきいき館	対象◎平成20年1月生まれの子ども
	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	理学療法士の運動指導
11 水	2~3カ月児健康相談	受け付け/10:00-10:30	いきいき館	対象◎平成22年5月生まれの子ども
	乳幼児健康相談	受け付け/13:00-13:30	いきいき館	月齢は問いません
12 木				
13 金				
14 土				
15 日				
16 月				
17 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
18 水	健口栄養講座	9:30-12:00	北公民館	
19 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
20 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
21 土				
22 日	いきいき健康まつり	9:00-15:00	いきいき館	ボランティアまつりも同会場で開催します
23 月				
24 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	健康運動指導士の運動指導
25 水	5~6カ月児健康相談	受け付け/10:00-10:30	いきいき館	対象◎平成22年2~3月生まれの子ども
	転倒予防自主トレ	9:30-12:00	のびのび館	
26 木	転倒予防教室	10:30-12:00	老人福祉センター	理学療法士の運動指導
27 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
	3歳児健康診査	受け付け/12:30-12:45	老人福祉センター	対象◎平成19年2月生まれの子ども
28 土				
29 日				
30 月				
31 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談

暮らしのお手伝いをいたします



シルバー人材センターは、農業、大工、自動車運転や事務などの仕事をした、経験豊富な会員が、家庭や企業、公共団体からの仕事を引き受けています。あなたもシルバー会員になって、知識や経験を生かしてみませんか？六戸町、おいらせ町内に居住し、健康で働く意欲のあるおむね60歳以上の人で、センターの趣旨に賛同していただける人なら、だれでも入会できます。気軽にお問い合わせください。

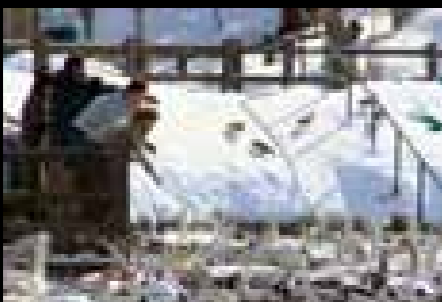
社団法人おいらせ広域シルバー人材センター
おいらせ町沼端 14-165
☎ 0178 3177 ファクス 0178 3028

※有料広告掲載欄です



本町の「人工浮島による植生回復」は内外から高く評価。このほど日本ビオトープ協会（吉川宏一会長）から「顕彰委員会特別賞」を受賞した

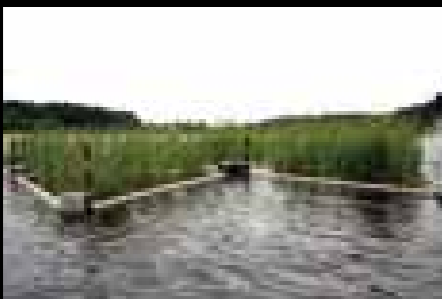
OIRASE SWAN HISTORY



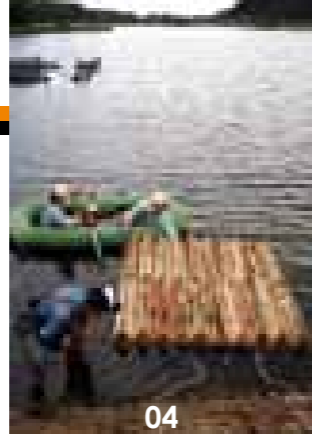
▲餌づけ自粛の前、間木堤には700羽ほどのハクチョウが飛来。おいらせの冬季観光を支える重要な観光資源だった



▲毎年3月に開催していたイベント「ふれあい白鳥デー」。平成20年度から餌づけ自粛に伴い中止。復活を望む声も多い



▲町は平成21年5月、小岩井農牧(株)（岩手県）へ人工浮島を発注。国の補助事業を活用し、大規模なマコモ浮島を設置した



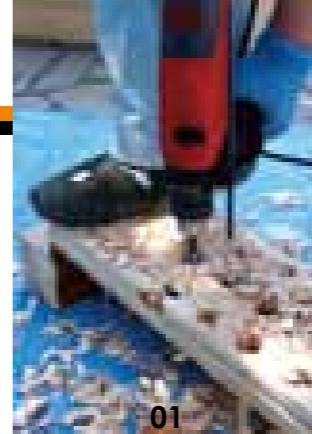
04



03



02



01



05

01 ●マコモボックスは3枚の板を三角柱の形に組み合わせて作る。マコモの芽の出口を作るため、電動ドリルを使って板に無数の穴を開ける 02 ●マコモボックスの中にマコモの苗を土ごと入れる。マコモは間木堤周辺にある「マコモ栽培田」で採取したもの 03 ●マコモボックスを組み合わせたのは、考案者の榎山忠さん＝間木＝。「マコモボックスにかかる費用は1個あたり約300円。ゆくゆくはオーナー制で植生回復したい」と意欲を見せる 04 ●マコモボックスを組んだ「人工浮島」。壊れないよう、慎重に水面に浮かべる 05 ●人工浮島を堤に設置する蛸名幸政さん＝曙＝。白鳥保護監視員として、間木堤のオオハクチョウをもっとも知り尽くした一人。「白鳥たちは11月にはまたやって来る。それまでにはしっかりマコモが育って欲しいね」とにっこり



もう一度 白い天使を 呼び戻せ

2010年6月12日・下田公園間木堤

ハクチョウの餌づけ自粛から2年余り—これまで穀物やパンなどの人工餌に頼っていた白鳥の里づくりは、「植生回復」という新たな取り組みへと変わってきている。「町の鳥をもう一度呼び戻したい」ハクチョウへの熱い思いは、ついに具体的な取り組みとして実現。人工浮島設置作業をカメラが追った。

マコモボックスを考案した榎山忠さん(66)「間木」は鋭いまなざし。護岸から作業をじっと見つめる。

2008(平成20)年11月、青森県は鳥インフルエンザの影響を考慮し、野鳥への餌づけを全面自粛。昭和39年から餌づけを続けていた本町は、この方針にやむなく従った。ハクチョウ飛来数は激減。町はハクチョウの餌になるイネ科の植物、マコモの植生回復を検討したのだ。

「ハクチョウは『町の鳥』。この間木堤に、もう一度呼び戻したい」

「白い天使」への熱い思いと愛情は、ついに人々を動かした。

草の香りが立ち込める初夏。満々と水をたたえた間木堤には、心地よい小鳥のさえずりと共に、男らの声が響いている。「もっとこっちは向ける。しっかりアンカーで留める」

マコモを植えた木製の人工浮島「マコモボックス」の設置作業だ。約1・8四方の人工浮島は相当な重量。これを引きながらゴムボートを操縦するのは容易ではない。町観光協会(馬場正治会長)の若いスタッフは、必死に操縦する。

目的の場所にたどり着くと、彼らは人工浮島の四方に付いているロープにコンクリートアンカーを取り付け、固定した。

3 Seiya(C)
澤上星尉弥
[6年・150cm]



6 Syunji
山本隼司
[5年・134cm]

いつでもどこでも
全員全力です

一球同心

1 Takuya
畠山拓也
[6年・152cm]



5 Keisuke
長谷川溪介
[5年・130cm]

蒸し暑い体育館に観客の声援が響く。澤上星尉弥主将が放った強烈なスパイク。相手エースの高いブロックを見事に弾き飛ばした。木ノ下JSCバレーボーイズ（澤上光成監督）は、全日本バレーボール小学生大会青森県大会で悲願の優勝。決勝戦の稲垣少年クラブ（つがる市）を2対1で下した。稲垣の選手は身長が高く、強烈なスパイクを放つ。木ノ下JSCは澤上選手③、畠山選手①らが左右からの速い攻撃で相手を翻弄。ほかの選手らも、攻撃的なサーブで相手のミスを誘った。澤上監督は「練習していた通り、積極的な攻撃ができました。合言葉は『一球同心』。チームワークはどこにも負けません」と笑顔。木ノ下JSCの平均身長は約136cm。決して身長が高いチームではない。だからこそ粘り強くボールを拾い、左右からの速い攻撃で相手を揺さぶり、得点を重ねる。これがチームの持ち味だ。「ぼくたちは試合中、絶対に負けない、と信じています。どんなときでも全力で臨みます」と話す澤上主将。キャプテンとして力強く、頼もしくチームを引っ張る。8月11日から東京都で開かれる全国大会。青森県代表として出場するチームに、大きな期待が寄せられている。

12 Ryota
澤田凌汰
[1年・116cm]



11 Haruto
荒木陽翔
[2年・133cm]



8 Tetsuya
澤田鉄也
[5年・142cm]



9 Kazushi
牛崎和志
[4年・133cm]



7 Jin
土岐仁
[5年・133cm]



「第30回全日本バレーボール小学生大会・青森県大会」は7月4日、青森アリーナ（青森市）で開催。地区予選を勝ち抜いた男子5チームを制したのは、木ノ下JSCバレーボーイズ。決して身長は高くないが、持ち前のチームワークと粘りで、優勝候補に勝利した。澤上星尉弥主将は「ぼくたちの武器は粘り強さ。チームの絆を全国でも見せたい」と力強く前を見る。



Zoom Up -2010.Aug-

頑張るおいらせ人にインタビュー

File 13

「チームの絆を全国大会でも見せたい」
木ノ下JSCバレーボーイズ





松村拳志朗君 高志さん

相手を思いやることのできる少林寺
いつかは父のように強くなりたい

(木崎)

PROFILE

まつむら・けんしろう◎1998(平成10)年おいらせ町木崎生まれ。小学校1年生から少林寺拳法を学ぶ。現在は1級の腕前。木内々小野球部の選手としても活躍。祖父母、父母、姉との6人暮らし。おいらせ町木崎在住、12歳
まつむら・たかし◎1965(昭和40)年百石町(当時)生まれ。社会人時代に少林寺拳法の魅力に取り付かれた。このほど正拳士5段を取得。指導に熱が入る。45歳

町少林寺拳法協会にて練習に汗を流す松村拳志朗君(12) 〓木崎 〓。このほど行われた少林寺拳法青森県大会で、組演舞入賞の立役者になった。

「6年生として最後の大会。みんなと息を合わせ、練習とお力を出すことができた」とにっこり。

拳志朗君が少林寺拳法を始めたのは小学校1年生のとき。指導者としての活動を始めた父の高志さん(45)と共に、厳しい練習を重ねた。「年内にはぜひ初段に上がりたい」と目標を見据えている。

頼もしい息子の姿に目を細める高志さん。「少林寺拳法は相手を思いやることのできる武道。子どもたちに魅力を余すところなく伝えたい」と話す。

中学生になっても少林寺を続けたいと意気込む拳志朗君。

「いつかは父のように強くなりたい。そして後輩たちにいろいろな技を教えたい」

力強く目標を語ってくれた。



町のイメージキャラクター「おいらくん」です。「皆さんよろしくね」

奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

広報 おいらせ